

ヘルパンギーナ

原因

主にコクサッキー A ウイルス(2, 4, 5, 6, 8, 10)、時にエンテロウイルス(B 群, エコー)により発病します。

感染経路

咳やくしゃみ、便などからの感染です。

潜伏期間

2～4日

好発年齢

乳幼児に多い

症状

初夏から夏にかけて流行する代表的な夏かぜの一つで、突然の発熱で始まり、咽頭に水疱ができます。水疱は破れてただれ、潰瘍になってのどが痛みます。食欲低下、不機嫌となり一時的に嘔吐や腹痛が出現することがあります。高熱はほとんどが2～4日で自然に下がり、水疱も長くて1週間くらいでなくなります。

治療と看護

- 自然治癒するウイルス疾患で、症状に応じてお薬が出ます。口内痛がひどい場合は、表面麻酔剤の外用を使います。
- 口内痛のため、飲む量や食べる量が減ります。脱水症状を起こさないようイオン飲料などで水分補給をしましょう。
- 赤ちゃんの場合、哺乳ピンを嫌がるようであれば、スプーンやストローを使うなど、少しずつでも水分を与える工夫が必要です。
- 柑橘系の果物やジュースなど、酸っぱいものや熱いもの、味の濃いものはのどの痛みを増すので、喉ごしのよい物を与えて下さい。